

黄斑前膜（おうはんぜんまく）

黄斑前膜ってなに？

網膜の中心部である黄斑部がセロファンのような膜で覆われ、物が歪んで見えたり視力が低下する病気です。

症状は？

はじめは、自覚症状も少なく、眼底検査やOCT(三次元眼底撮影装置)で偶然に見つかることも良くあります。膜がだんだん厚くなってきたり、膜が収縮してくると、網膜にひきつれが生じて物が歪んで見えたり、視力が下がってしまいます。ただ、加齢黄斑変性や黄斑円孔とは違って、視野の中心が全く見えなくなることはありません。「何か視力が出にくい」「何か黄斑部が気になる」と思った時にOCTを撮って見ると黄斑前膜を認めるという症例が頻度的に多い印象があります。黄斑円孔と同じく硝子体の収縮が関係しているの、やはり高齢者に多く、女性に起きやすい病気と言われています。

原因は？

眼球の中には、硝子体という卵の白身のようなゼリーが入っています。若い時には均一な硝子体が、年齢とともにゼリーの線維が少しずつこわれて水だけの部分が増えてきます。しかし、黄斑部では、網膜と硝子体の接着が強くゼリーが網膜の表面に残りやすくなり、その部分を足掛かりにして新たな細胞の増殖などにより少しずつ黄斑前膜が形成されます。

治療は？

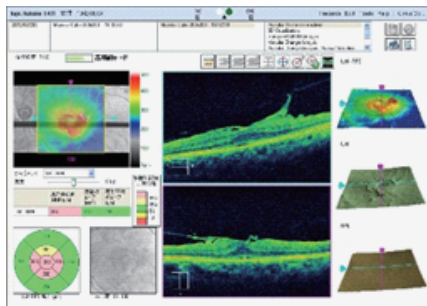
飲み薬や点眼で改善させたり、進行を止めることはできません。病気が進行すれば手術が必要になりますが、急に悪化するような病気ではないので、日常生活に支障をきたすことがなければ手術を急ぐ必要もありません。歪みや視力低下(0.6前後が目安)が気になるようになれば、手術の適応があるかどうかを診て頂くために後送病院をご紹介させて頂いています。黄斑前膜の手術では、まず最初に後部硝子体を切除し、その後で特殊なピンセットで前膜を剥がします。一番多い合併症は白内障で、多くの場合、同時に手術してしまいます。



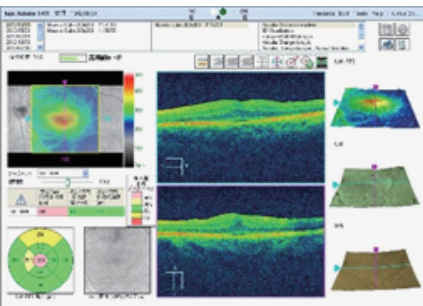
【手術前の眼底写真】
黄斑部に白いセロファンのような膜を認める



【手術後の眼底写真】
白いセロファンのような膜は消失した



【手術前のOCT】
黄斑前膜のため表面は不整で収縮による網膜肥厚を認める



【手術後のOCT】
網膜肥厚は認められ、黄斑前膜は消失し、表面も平坦に改善

親切・丁寧・笑顔がモットー

梶川眼科医院 情報誌 (年4回季刊発行)

瞳きらきら通信

Tel 078-732-0091 兵庫県神戸市須磨区前池町3-4-1

2014

冬
vol.11



院長ごあいさつ



謹賀新年♪

昨年の師走、新語・流行語大賞が発表され、予備校講師の林修さんの「今でしょ!」、NHK連続テレビ小説「あまちゃん」の「じえじえじえ」、連続ドラマ「半沢直樹」の「倍返し」、滝川クリステルさんの「お・も・て・な・し」が年間大賞に輝きました。

個人的には、「おもてなし」が一押しです。滝川クリステルさんの素敵な笑顔とあの一連の素振りごとにかくチャーミングで、100委員たちの心を鷲掴みにしたのでは(苦笑)。



院長 梶川大介

茶道から生まれた「その瞬間を、人生で一度の交会と思い、心をこめて、客人を迎える」という「一期一会」の思想こそ、日本の文化である「おもてなし」の源流とネット記事に書かれていました。「チーム梶川」は、心のこもった眼科医療を目指しています。「チーム梶川」らしい「おもてなし」で一人でも多くの患者さんに喜んで頂けるよう、またご満足頂けるように頑張ってお参りますので、今後とも宜しくお願い申し上げます。

最後になりましたが、2014年が皆様にとって笑顔で幸せに満ちた年となることを祈念して、新年のご挨拶とさせていただきます。

《心肺蘇生法・AED研修》

当院では、救急の日にちなんで9月に救急法の講習を全スタッフで行っています。医療従事者には、より質の高い救命処置が求められており、昨年は心肺蘇生練習用人形を使ってCPR(心肺蘇生法)、AEDの取り扱い方の訓練を行いました。突然の出来事に対する臨機応変な対応が出来るよう、スタッフ一同体制を整えています。(看護師・小淵)



コラム数珠つなぎ



今回は、受付・木崎がお届けします！

幼い頃、私の宝物といえば公園で拾った瑠璃色のビー玉だったり、海で見つけたほんのりピンク色の桜貝だったり...大人になるにつれて宝物と思う事もなくなっていた頃、デート中の車からふと目にとまった教会の掲示板。「汝の宝あるところに汝の心あり 汝の心あるところに汝の宝あり」横にいた彼は私を「宝物や〜!」と...あれから何十年...私の今の宝物は、ソファで愛らしい姿でひっくり返って寝ているわんちゃんのえい吉くん!!本当に大切な宝物。その横であの時、私を宝物と言った彼は、大きなお腹でグーすかイビキをかいてひっくり返って寝ています...あ〜...彼の今の宝物は何なんだろう...???みなさんの宝物は何ですか?!

梶川眼科医院 50周年記念《感謝の会》

院長：梶川大介

平成25年12月7日、梶川眼科医院50周年記念《感謝の会》を催すことが出来ました。大勢の方にお集まり頂き、お祝いをして頂いて本当にありがたかったです。十数年ぶりにお会いしたスタッフが何人もおられ、懐かしい元気な顔をいっぱい拝見できて、もうそれだけで嬉しかったです。この会の目的は2つ。1つは当院を支えて頂いた中でも最も近い方々に感謝の気持ちを直接伝えること、もう1つは、ご縁があった皆さんと同窓会のようなノリでとにかく楽しんで頂くことです。

久保田利伸の「LA・LA・LA LOVE SONG」の曲に乗って昔懐かしい写真を織り交ぜたオープニングムービーで開演。

ご来賓の方々からの祝辞では、身に余るお褒めの言葉を山のように賜り、お尻がこそばい感じでした。皆さん、本当にありがとうございました。

お食事の歓談中、元スタッフとお友達による歌と演奏。声楽で培った確かな歌唱力と感情豊かで色気のある歌声は、さすが、凄い、素敵でした。曲紹介のトークもめっちゃ上手い。

その後、「日本で唯一の大道芸一家」と言われるスピニングマスターズによる大道芸。格好いい津軽じょんがらから始まり、パフォーマンスは、兄弟ならではのピッタリ息の合ったスピーディーなジャグリングで迫力満点。LEDを使用した綺麗なディアボロ(中国コマ)も初めて見ました。ハラハラドキドキで最高に素敵で、大人から子どもまでみんなの視線が釘付けで、本当に楽しかったです。

引き続き、大興奮のビンゴゲーム&じゃんけん大会。当たった方、当たらなかった方、悲喜こもごも。じゃんけんで一等賞をゲットした瞬間のMさんのガッツポーズが印象的でした(笑)。感謝の会も終盤にさしかかり、父やスタッフへの感謝の気持ちと僕の想いを綴ったムービー紹介。父の場面では、妹は号泣していたそうです。また、父のもとで働いていた元スタッフも「泣けました」とおっしゃってました。ムービーが終わり、予定通り締め院長挨拶をするために舞台中央に向かうと、いきものガカリの「ありがとう」の曲とともにムービーが流れ始めています。「えッ?!何でなん?!」訳も解らず見入っていると、現スタッフ一人ひとりから僕への感謝の言葉や心温まるメッセージが書き込まれていました。ヤバかったです。。。言葉になりませんでした。オープニングでのクラッカー、母からの手紙、スタッフからの記念品贈呈とサプライズ演出の連続で感無量。ホンマにありがとう、みんな♪♪

これまでの50年、梶川眼科医院を支えて下さった全ての方々に感謝の気持ちでいっぱいです。これからも、梶川眼科医院の未来と可能性を信じて、まだまだ至らぬことも多く、未熟な”チーム梶川”の監督ですが、スタッフとともに成長していきます。今後ともご指導、ご支援のほど宜しくお願い申し上げます。



～感謝の会担当スタッフより～

●記念式典を終えて／受付・河野

当初、先生から、式典の担当をして欲しいと依頼されたときは、今まで一度も経験したこともありませんでしたし、私なんか出来るのかしらと、不安で一杯でした。しかし、先生や西山さんとのミーティングを重ねるほどに、色いろとアイデアも出てきたり、荷が重かったですが、楽しんで取り組むことができました。式典が盛大に終えることができたのも、スタッフのみなさんの温かい励ましと支援があればこそと思っています。先生を始め、スタッフの皆さま、関係者の方々に心より御礼を申し上げたいと思います。本当にありがとうございました。
* 追伸、プロによる写真撮影は、チョットしたモデル気分でした。

●「感謝の会」開催にあたって／受付・西山

全てが初めての経験だった感謝の会。大成功に終えることができました。それが実現できたのは先生そしてスタッフ・元スタッフ・大奥様・奥様のおかげでした。急なアンケートや写真撮影にに応じてくださった全ての方のご協力があったからです。大成功だと実感したのは、先生の涙ながらの挨拶で「こんなサプライズばかり・・・」と、奥様から皆様への気持ちのこもったメッセージをお聞きした時でした。全ての皆様に温かい目で見守って頂き、本当にありがとうございました。